

まちなかのリビング「あいぱれっと」

多久市で継続事業として取り組んできた多
久駅周辺区画整理事業も大詰めにな
り、新たな中核施設・まちづくり交
流センターが8月6日オープンしま
す。

「ここはいわば、まちなかのリビ
ングのイメージ。人々が出会い・
くつろぎ・交流できるようなスペース
として新たなにぎわい創出につなげ
たいとの思いが込められています」
(横尾市長)

施設愛称は「あいぱれっと」。
地域愛・出合いを重ね、多
彩な未来を描くカラフルな
絵の具パレットのように
あって、市民のみなさんが
未来を描いてほしいという
願い・希望が込め
られています。公
設民営方式で運営
を行います。

センター オープン!



多久市に活気を!

多久市まちづくり交流センター「あいぱ
れっと」の公設民営方式運営を担う「一般
社団法人たく21」で代表理事を務める藤川
範史さんにお話をうかがいました。

「多久市のために!」の決意で!!

多久市で商売をして40年。5年前から多
久市まちづくり協議会に参加し「あいぱれ
っと」に関わってきました。この施設は、市
が施設を整備し、運営を民間が行うとい
う公設民営方式で運営します。それを引っ張
る代表理事という大役を引き受けるときは
悩みましたが「多久市のことを考えればこ
そ!もう一度立ち上がろう!」と決心し、
代表理事を引き受けました。

みんなで育てる活気ある施設に

やっとここまで来れたという感じです。
すべてがゼロからのスタートでした。楽し
みではあるが、周囲からの期待を思うと不
安も大きい。市外からも来てもらえる活気
ある施設になってほしいと思います。

ここは、みなさんが育てる施設。すべて
の人が協力してこそ、活気あふれる施設に
なると思います。ここが起爆剤となり周辺
も活気が出るよう焦らずみなさんともに
がんばりますので、ご協力お願いします。「た
く21」への応援基金は引き続き募集中です。



新たなチャレンジ



駅周辺地区では、多久市まちづくり協
議会を立ち上げ、これまで幾度も会議・会
合を重ね、また、特にこの2年間程はタ
ウンマネージャー方式で準備や事業推進を
図ってきました。

「自分自身もタウンマネージャーは初め
てですが、民間企業での経験を活かしなが
ら、地域のみなさんの大きな支えをいた
だきつつ、努めてきました。まさに現場責任
者として携わっています」と語るのは井手
智章・タウンマネージャー。

1日当たりの来場者目標300人以上が
目標であり「いろいろな人が集える施設と
して、新たな人材を見出し、そのコネク
ト役も担いたい」と熱が入る。

こだわり雑貨への想い

「あいぱれっと」におしゃれな雑貨屋
「SOCCOL&S」(ソコルス)がオープンし
ます。この店をオープンさせるのは、
笹川 俊一、麻衣子さん夫妻。出店への思いをう
かがいました。

雑貨は、こだわって厳選したものをと考
えています。物の本質が見えてくるショッ
プにしたい。新しいチャレンジに「わくわく」
しています。市内だけでなく市外からも来
ていただける店を目指しています。

「SOCCOL&S」だけでなく、「あいぱれ
っと」全体がにぎやかになってもらえるよう、